

特別講演会報告

10月27日（金）平成25年度本校卒業生で、世界陸上競技選手権・走高跳8位入賞を果たしたアワーズ株式会社所属の赤松 諒一（あかまつ りょういち）選手を講師にお迎えし、演題「探究し続けることの意義」として、特別講演会が行われ、全校生徒と共に保護者21名が聴講されました。

高校時代インターハイで3位入賞。進学した岐阜大教育学部、同大大学院でも陸上競技部で活躍した赤松選手は、システムエンジニアとしてIT企業のアワーズに入社、同社が医療系のシステム開発に力を入れていることから研究生として現在も岐阜大医学部に通い、高齢者の転倒予防のシステム研究をしています。



講演では、現在研究している内容の説明を含め、アスリートとしての活動状況も詳しく話していただきました。選手としての寿命が終わった後の生き方も考えられているという話から、将来を見通したキャリアプランニングの重要性を感じ取った生徒も多かったようです。生徒の事後アンケートでは「色々なことに興味を持ち、オンオフの切り替えを意識していこうと思いました。」「三刀流は私にはできないと思ってしまったけど、赤松さんを見習って、興味を持ったことは恐れずに始めてみて、自分の視野を広げたいと思いました。」「実践と研究の双方を両立することで、有意義で効率的な活動ができるとわかりましたし、自分の可能性を決めつけずに、なんでも挑戦していくことの大切さを改めて感じました。」と述べるなど、意識の高まった生徒が増えたようです。

赤松選手 貴重なお話ありがとうございました。（加納高校 総務部）

